



しなやかなたくましさをもった生徒に！

2学期が始まりました。2学期は授業可能日数が81日と、年間でも一番長い学期です。一日一日を充実させ、学習面も生活面も成果を上げ、大きく成長してほしいと思います。

今年度の第1学期の始業式で、令和5年度のキーワードを「楽しむ」としましょうという話をしました。ワールドベースボールクラシックでのJAPANチームの活躍を例に挙げて、「楽しむ」とは、楽をすることでもなく、ふざけ合うことでもない。何事も挑戦する、チャレンジするという、前向きで、積極的な行いをするということという話をしました。また、「楽しむ」ということは、自分だけが楽しんでいるのでは、そのうち虚しさを感じる。みんなと「楽しむ」ことが大事。自分が役割を果たすことでみんなが喜ぶ。チームの仲間の活躍をみんなですべて喜ぶ。学級、学校全体をそういうチームにしていきたいですね。

2学期は大きな行事がたくさんあります。自分から「楽しむ」ためのチャレンジ、挑戦をすること。人に言われて動くのではなく、自分から進んで考え、行動を起こしていく。「誰かが面白くしてくれるだろう」ではなく、自分から進んで楽しもうとする心のありようが大切なのです。そのためにも「笑顔を鍛える」。顔の筋肉を鍛えて、表情豊かになると、顔には無数のツボがあり、体全体の調子よくなる。仲間との間でも、しかめっ面をして人に嫌な思いをさせるより、笑顔を鍛えることでお互いの調子が良くなりパフォーマンスを上げることができる。早速10日（日）には第41回の体育大会も開催されます。夏休み後半から、応援団も練習を始めており、いつもより早い体育大会に向けて早速動き出しています。皆さん一人一人が活躍できる場、輝ける場をつくるために、先生たちも頑張ります。皆さんも自分たちの力で、充実した日々にするために何ができるかを考え、どんどん実行してほしいと思います。

学びの上でも「楽しむ」。学びは一人で楽しむのには限界があります。仲間と、地域や社会と繋がって学ぶ楽しさを味わってほしい。2年生で取り組んでいる「かごたん—ENGINE」では、いよいよ株式会社フォーエバー、内村建設株式会社、南日本新聞社の3企業の方々为学校にやってきます。先日テレビ (<https://www.kts-tv.co.jp/news/15644/>) や新聞 (<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000079.000026081&g=prt>) でも報道されましたが、この夏休みに先生たちも企業の方々と研修を行いました。その研修の中でも学びを楽しむヒントが数多くありました。その中の一つが「うなずく」です。相手の意見に賛成か反対かは別として、まずは「あなたの意見を聞いているよ、分かるよ。」という意味でうなずきながら聞くこと。そのことで、学びの雰囲気よくなり促進されるそうです。

いろいろなことにチャレンジして楽しむためには「レジリエンス（しなやかさ＝精神的な回復力）を備えたたくましさ」を身に付けてほしいと思います。そのためにネガティブをポジティブに、自分のよさや強みを知る、他者の存在に気づき感謝の心を表すことが大事になります。この夏休みに成田奈緒子さん (<https://diamond.jp/articles/-/321688>) という医学博士の話を伺いました。その中でもレジリエンスが取り上げられ、脳科学の見地から、レジリエンスを高めるためには、脳の中の「からだの脳＝生きるための脳」をしっかりと育てること。そのためにはまず「寝て・起きて・ごはんを食べて・からだを動かす」ことが大事だということです。（14歳から17歳までの望ましい睡眠時間は8～10時間！）人は一人では生きられないから、ちゃんと「助けて」が言えること。家族や集団の中で役割をもち、それを果たすこと。そのための魔法の言葉「ありがとう」と「ごめんなさい」が言えること。意識して生活してみましよう。そして学校も保護者も一緒になって、「しなやかなたくましさ」を備えた生徒たちを育ててまいりましよう。

第41回体育大会のテーマが決まりました。

令和5年9月10日（日）実施予定の第41回吉野東中学校体育大会。今年のテーマが「**No Limit!** ～歴史に新たな足跡（あしあと）を～」に決まりました。本日の始業式あとに、保体部長の久保田 竜誠さん、堀切 琳心さんから生徒全体に発表がありました。自分で限界を作らない、自分の限界を突破するという大変意欲的なテーマです。短い時間ではありますが、生徒の、生徒による、生徒のための体育大会をつくっていきましょう。



体育大会の練習期間から体育大会の本番まで（9月5日（火）～10日（日））の期間は、**体育服での登下校が許可**されます。なお、汗を拭き取るタオルや着替え等の準備をよろしくお願いします。

また、水分補給のため少し大きめの水筒の準備をお願いします。この期間は水筒の中身としていつもの水、お茶に加えて**スポーツドリンクも許可**します。学校としてもミストの設置や適切な休憩・給水時間の設定など暑さ対策には万全を期します。

生徒会役員選挙が公示されました。

本日9月1日（金）に、選挙管理委員長の3年3組の岩崎 昊輝さんから、第42代生徒会役員選挙が公示されました。立候補者の立合演説会及び投票は10月2日（月）となります。今回の選挙では、**2年生立候補者のうち会長、副会長の2名、1年生立候補者のうち副会長1名の計3名を連記無記名投票**によって選出します。立候補者の受付は9月13日（水）までとなっています。生徒会の中心となってよりよい学校をつくっていこうと思う人は是非立候補してください。



選挙を公示する岩崎 昊輝さん

生徒の活躍

- 第46回JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
男子200m背泳ぎ 13歳～14歳の部 第5位 3年1組 有田 悠希
記録 2分06秒11
- 第20回こけけ杯中学生サッカー大会 優秀選手賞 3年3組 皆元 柊愛

いよいよ「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。

いよいよ、特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。3年間、待ちに待った大会です。各都道府県選手団を歓迎するため、それぞれの中学校にのぼり旗の製作依頼がありました。本校では、美術部の生徒たちが、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、滋賀県、京都府の選手団を歓迎するため5枚ののぼり旗を製作しました。それぞれの都府県の特産物や名産、名所やキャラクター、生き物などをコンテンツとして選び、素晴らしい構図で色鮮やかに仕上げています。本当にレベルの高い出来に感動。各選手団の方々も大喜びだと思えます。



8月29日（火）には、川商ホール（市民文化ホール）で、選手団結団式が行われ、本校からも選手が出場するので所属長として出席してきました。大変名誉なことです。生徒たちの活躍のおかげです。結団式に先立ち、神村学園吹奏楽部のステージドリルと鹿児島南高等学校の書道部の書道パフォーマンスも行われ、そのレベルの高さに感動しました。「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」には、本校から3年生の有田 悠希さん、芝崎 楽さん、前村 周宥さんが出場します。活躍を期待しています。

